

今回の論点メモ

第1回委員会でいただいた御指摘（京都らしさ・強みを生かすべき、若者に選ばれるような夢のある農林水産業の展望を描くべき）を踏まえつつ、下記点について方向性やあり方の御議論を賜りたい。

○スマート農林水産業の現状と課題、目指す方向

- ・ICT、IoT、ロボティクス等スマート技術の京都への実装について
 - ▶ 農林水産物生産現場への実装
 - ▶ 人口減少の進む農山漁村への実装

○農林水産物の輸出対策の現状と課題、目指す方向

- ・国外への販路拡大を目指した、ニーズのとらえ方、ターゲットの設定
- ・輸出を見据えたインバウンド等国内対策

○京都府農林水産ビジョン（仮称）の構成（案）

検討委員会でいただいた意見を踏まえ、5つ程度にグループ化（重点戦略）して今後の展開を記載してはどうか。

夢と未来がある京都の農林水産業の創出

- ICT、IoT、ロボティクス等のスマート技術の活用で軽労化や高収益化するとともに、センサーやAIなどデータの活用により経営を向上する
- 外部人材や農商工連携など異業種交流によりビジネスのすそ野を拡大する

林業経営の活性化と山地の防災・減災を両輪で推進

- 新たな森林管理システムによる森林の適正管理を推進する
- 森林環境譲与税の活用等総合対策で持続的な林業経営を育成する
- 奥地等の森林保全や風倒木対応等で、山地災害対策の強化する

「京都ブランド」を生かした販売の戦略

- 京の食文化のフル活用など京都らしい差別化の戦略をおこなう
- GAPなどの国際基準認証の取得による安全を見える化する
- ムスリムやビーガンをはじめとした食に制約のある外国人観光客などへの対応や観光客への訴求する

産業や地域での多様な人材の活躍

- 法人のインキュベーションや働き方改革、企業参入、集落営農の強化等で担い手を確保する
- 移住者や地域おこし協力隊等地域を活性化する外部人材を確保する

農山漁村の魅力発信と防災力の強化により活力ある地域をつくる

- 地域の食材など地域の資源を生かしてなりわいをつくる
- 地域の魅力発信を一元的に行う
- 地域内外をつなぐ人材を活用する
- ハザードマップ作成や鳥獣対策をすすめ安心・安全を確保する